

令和4年度第1回「学ぶ土台づくり」研修会（入門編）

# 遊びをつなげる保育者の援助

参考：幼稚園教育要領解説（文部科学省 平成30年3月）  
保育所保育指針解説（厚生労働省 平成30年3月）  
幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説  
（内閣府・文部科学省・厚生労働省 平成30年3月）  
幼保連携型認定こども園における園児が心を寄せる環境の構成  
（内閣府・文部科学省・厚生労働省 令和4年3月）

主催 宮城県教育委員会



# 1 幼児の主体的な活動と環境の構成



# 幼児の主体的な活動の展開

幼児が意欲をもって積極的に周囲の環境に関わり、  
**主体的に活動を展開**することが大切

→環境がどのように構成されているかに左右される。

幼児が興味関心をもち、  
思わず、関わりたくなるような  
もの・人・事柄

興味や関心が深まり、  
意欲が引き出され、  
意味のある体験ができるように  
構成された環境

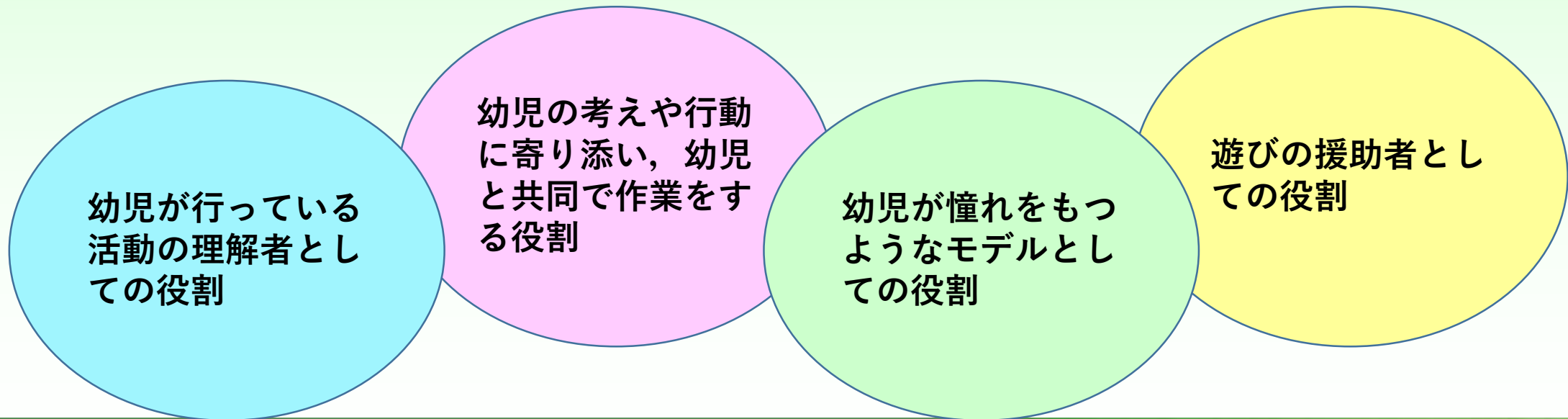


## 2 保育者の役割



# 保育者の役割

保育者は幼児の発達のプロセスを見直し、**具体的なねらいと内容を設定して、意図をもって環境を構成し、保育を展開**



# 保育者の役割

- 実際の関わりの場面では、これらの役割が**相互に関連**
- **状況に応じた柔軟な対応が大切**

幼児が行っている活動の理解者としての役割

幼児の考えや行動に寄り添い、幼児と共同で作業をする役割

幼児が憧れをもつようなモデルとしての役割

遊びの援助者としての役割



# 3 幼児理解を基にした 指導計画と環境構成



# 環境を通して行う保育を展開していくために





# 環境を通して行う保育を展開していくために

## →幼児理解を基にした指導計画の作成

- 幼児一人一人の興味や関心に沿って主体的な活動ができるように計画し、環境を構成する。
  - 幼児自らが「やりたい」「やってみたい」と思うことが強い動機となる。
  - 学ぶために活動するのではなく、楽しいから活動する。
- このような活動の中に多くの学びがある。



# 指導計画と環境構成

幼児が心を動かしながら環境に関わることは、充実感や満足感につながる。

→主体的に環境と関わりながら遊びや生活を進めていく基盤

- ・ 幼児は、今、何に興味や関心をもっているのか
- ・ どのような環境構成をすれば、興味や関心をもち、体験の幅が広がったり深まったりするのか

このような視点のバランスを取り、指導計画を立て、環境構成をしていくことが大切



# 4 幼児と「もの」をつなぐ



# 幼児が遊びに没頭するために

幼児の発達，興味や関心などに合わせて「もの」を用意することが大切

## 3歳児では・・・

幼児が「やりたい」と思った機を逃さずに体験させるために，同じ「もの」をたくさん用意

## 5歳児では・・・

試したり，工夫したりできるような素材や材料をたくさん用意

幼児の体験の幅が広がるように，新しい「もの」との出会いも計画的に入れ込んでいく



# 季節の「もの」や自然との出会い

自然の美しさ・不思議さ・大きさを  
感じるなど、自然に対する興味  
や関心が広がっていくように、  
時期やタイミングを逃さず  
幼児と「もの」との出会いをつ  
くっていきましょう！



# 5 遊びをつなぐ



# 幼児が遊びを展開する場に目を向けると・・・



幼児が活動している場を

- ・残しておけるのか
- ・片付けなければならないのか

その後の活動の仕方は大きく変わる。



# 幼児が遊びを展開する場に目を向けると・・・



- ◆ 幼児全体の動きが重なり合うことなく、それぞれの遊びの場が保障されるのか、幼児の動線を考慮
- ◆ 静的な場、動的な場が干渉し合わないよう遊びの場を構成





# 幼児が遊びを展開する場に目を向けると・・・



遊びの場ごとにしっかり区切って  
しまうと、遊びと遊びの間に刺  
激が得られない。

幼児は、自分の遊びをしながら  
も、友達の遊びを見たり、影響  
を受けたりする。



# 6 屋内と屋外をつなぐ



# 屋外から屋内へ・屋内から屋外へ 幼児の動線のなめらかなつながり

保育室や園庭などの全体的な空間の構成を見取り、幼児の動線が無理なくなめらかにつながっているかを考える。

→幼児の遊びの充実につながる。

幼児の遊びの展開や生活の流れなどを踏まえ  
動と静をバランスよく取り入れ  
幼児がスムーズに移動することができる動線を保障



# 屋内と屋外をつなぐ

具体的な場面では・・・

「園庭で体を動かす楽しさを感じてほしい」という願い

- ・ テラスや園庭につながる廊下にテーブルやワゴンを置く
- ・ 園庭の広さ、関わりがありそうな他の遊びが見える



そとで  
あそんでみよう  
かな・・・



環境構成がうまく機能しない場面では、**環境を再構成**する必要がある。



# 7 まとめ





様々な遊びや生活が営まれている園舎

体を動かしたり  
自然に関わったりすることができる  
園庭

心が安らぎ  
様々な遊びや  
生活の基盤になる  
保育室

園舎・園庭・保育室の  
ほか、畑・花壇・テラス  
などがもつ教育的な価値  
を理解し、全体的な  
空間の構成を時間の  
構成と併せて考えていく。

→多様な教育的価値  
のある一層豊かな保育  
の空間

- 幼児一人一人の興味や関心に沿って主体的な活動ができ、体験の幅が広がったり深まったりしていくような環境構成
- 遊びと遊びを空間的・時間的につなぐことで、幼児が十分に遊びこみ、満足感を味わうような援助

